

33.6kbps DATA / 14.4kbps FAX Modem PC カード

REX-9561

ユーザーズマニュアル



1997年3月 第1.0版



はじめに

この度は REX-9561 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。 本書は REX-9561 の導入方法ならびに使用方法を説明したマニュアルです。REX-9561 を正しくお 使い頂くため、ご使用の前に本書をよくお読みください。

ご注意

- ・本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら弊社宛ご連絡ください。
- ・本製品を使用した上での運用結果に付きましては、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記述されております。必ずご確認の上、大切に保管しておいてください。
- ・本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品取扱上の注意

- ・カードやケーブルの分解や改造等は絶対に行わないでください。
- ・カードやケーブルを無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せる等は行わないで ください。
- ・カードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。
- ・ラジオやテレビ、オーディオの近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
- ・モーターなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。
- ・煙が出たり、変な臭いがする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等 もコンセントから抜き、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ・カードが濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用を中止し、販売店または
 弊社サポートセンターまでご連絡ください。

・本製品を保管する際、次のような場所は避けてください。
 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
 チリや埃、湿度の多い場所
 振動や衝撃の加わる場所
 スピーカー等の磁気を帯びたものの近く

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記まで電話、お手紙または FAX でお問い合わせ ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒 556
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
TEL 06-633-6766 (サポートセンター直通番号)
受付時間
月曜~金曜 10:00 ~ 17:00(土曜・日曜・祝日を除く)
FAX 06-633-3553 (FAX での受付は 24 時間)

また、NIFTY-Serveの以下のフォーラムおよびインターネットのホームページでも受け付けており ます。

> PC Vendor Station E (SPCVE) 電子会議室 8 番「ユーザサポート」

ラトックシステムホームページ

http://www.rexpccard.co.jp

お問い合わせの際は、最終ページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記FAX番号までお送り ください。折り返し弊社より電話またはFAXにて回答させて頂きます。 ご質問の内容によってはお時間を頂く事がありますので予めご了承ください。 また、ご質問に関する回答は上記営業時間内の処理となりますので予めご了承ください。

サポートに関する物品の送料等はお客様負担となりますので、予めご了承ください

目次

1	REX-9561の概要 (1)REX-9561について (2)対応機種 (3)対応OS (4)梱包内容 (5)パソコンへの装着方法について (6)構内交換機(PBX)を経由する接続の場合の注意点 (7)パソコン側のPCカードスロットに対する設定について (8)その他	1 1 2 3 3 4 4
2	Windows95 でのセットアップ	5
3	Windows NT でのセットアップ	1 0
4	OS/2 でのセットアップ	17
5	Macintosh でのセットアップ	26
6	AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて (1) AT コマンド体系について (2) AT コマンドの発行方法について (3) リザルトコードについて (4) S レジスタについて (5) 設定内容の保存について	3 1 3 1 3 2 3 2 3 2 3 2
7	AT コマンド一覧	33
8	リザルトコード一覧	39
9	S レジスター覧	4 2
仕	様	43

1 REX-9561の概要

(1) REX-9561 について

REX-9561 は、PC Card Standard に準拠した PC カード型データ/FAX モデムです。 このカードは、一般公衆回線に接続することにより、データモード時 33600bps、FAX モード時 14400bps での通信が可能です。

(2) 対応機種

- ・PC カードスロットを搭載した Windows95 が動作する PC/AT100% 互換機
- ・Windows95 が動作する NEC PC-9821 ノートシリーズ
- ・Windows95 が動作する EPSON PC-486/586NA シリーズ
- ・Apple Macintosh PowerBook5300/1400/190 シリーズ

(3) 対応 OS

- Windows 95
- Windows NT 4.0
- OS/2 Warp Version 4
- ・漢字 Talk J1-7.5.1 以降

(4) 梱包内容

REX-9561の製品構成は以下の通りです。



ご愛用者登録はがき

製品情報やバージョンアップサービスなど、弊社から各種ご案内を差し上げるために必要となり ますので、お手数ですが、必要事項を記入し2週間以内に弊社宛までご返送ください。 なお、本はがきをご返送頂けない場合、製品購入後のサポートサービスの提供ができなくなる場 合がありますのでご注意ください。

保証書

記載されている保証条項に基づき、保証期間内は無償で修理させて頂くためのものです。

記載の内容をお確かめの上、大切に保管してください。

また、ご購入時に販売店様印と日付が記入されていない場合、お客様のご購入日から1年が経過 していない場合でも有償修理となる場合がありますので、ご注意ください。 (5)パソコンへの装着方法について

REX-9561は、PCカードスロットを持つパソコンにおいて動作するように設計されています。 パソコンのPCカードスロットに、通常の場合カードの「REX-9561」と書かれているネームプレー トを上面にして挿入し、下図のように電話回線と接続します。

パソコンの種類によっては、カードの上下を逆にセットするものもありますので、詳細はご使用に なるパソコンのマニュアルなどをご確認ください。



下記カードの正面図を上面にして、PCカードスロット側コネクタをパソコンのPCカードスロットに挿入します。4 ピンコネクタに、付属のモジュラーケーブルを接続します。ケーブルをカードから取り外す時はコネクタの両側を押さえながら取り外してください。



(6)構内交換機(PBX)を経由する接続の場合の注意点

REX-9561を構内交換機経由で接続する場合、各通信(FAX)ソフトウェアの初期化コマンドに必ず「X3」を付加してください。このコマンドを付加しない場合、ダイアル処理を行う際「NO DIALTONE」と表示されダイアル処理が中断しますのでご注意ください。

(7)パソコン側の PC カードスロットに対する設定について

ご使用のパソコンによっては以下に記述に関する設定が必要な場合があります。

PC カードスロットへの電源供給の確認

PCカードスロットへの電源供給のオン・オフ設定できる機種では、電源が供給されるような設定 になっていることを確認して下さい。

このような機能を持つ機種のほとんどは、セットアップやパワーセーブ機能の中の項目にて設定 します。

例えば IBM ThinkPad シリーズの一部の機種では、導入メニューの「セットアップ」機能の「P Cカード・コントローラの電源」という項目を「オン」になるように設定します。

PC カードスロットへ電源が供給されていない状態では、REX-9561 は全く使用できませんのでご 注意ください。

オートパワーダウン機能での注意

ノートパソコンでは、設定された時間内に何も操作がなかった場合に自動的にパソコン本体の電源を落とす機能「オートパワーダウン機能」を備えたものがあります。パソコンの機種によっては、この機能が働いた場合にPCカードスロットへの電源供給も止めてしまう場合があります。 REX-9561 が動作していて、回線接続中にオートパワーダウン機能が働くと回線が切断されてしまいます。このような不具合を回避するためには、オートパワーダウン機能が無効になるようにパソコン本体を設定してください。

レジューム・サスペンド機能での注意

パソコンの機種によっては、レジューム・サスペンド機能が動作したときにもオートパワーダウン機能が働いたときと同じように、PCカードスロットへの電源供給を止めてしまうものがあります。このような場合には、レジューム機能が無効になるようにパソコン本体を設定してください。

上記設定方法の詳細に関してはご使用のパソコン本体のマニュアルをご参照ください。

(8)その他

本製品をご使用頂くには、本書で説明していない事項以外に以下のことを行っていただく必要があ ります。

・インターネットプロバイダとの契約
 REX-9561をインターネットに接続して使用する場合、インターネットプロバイダとの契約が
 必要となります。契約方法等の詳細に関しては、各インターネットプロバイダにお問い合わせください。

2 REX-9561 のセットアップ

ここではREX-9561をWindows95搭載パソコンヘインストールする方法を説明します なお、ここでの説明はすでにPCカードスロットのセットアップが完了したものとして進めていき ます。従ってPCカードスロットのセットアップがまだ完了していない場合、Windows95のヘルプ を参考に、PCカードスロットのセットアップ(PCカードウィザードなど)を先に行ってください。

(1) REX-9561のPCカードスロットへの装着

REX-9561 をパソコン側の PC カードスロットヘセットします。

しばらくすると次の画面が表示されます。

新しんいートウェア	? ×
ROCKWELL-RATOC System 33.6/14.4Kbps Data/Fax Modem	
新しいハートウェア用にインストールするトライハを選択してください。	
○ Windows 標準のトライフテ <u>゙シ</u>)	
● ハードウェアの製造元が提供するドライバ(M)	
○ 一覧から選ぶ(S)	
○ ドライバをインストールしない(D)	
OK キャンセル ヘルフ [°] (<u>H</u>)	

上記画面で「ハードウェアの製造元が提供するドライバ(M)」を選択し「OK」をクリックします。

(2) ドライバディスクのセット

下記画面が表示されたら、REX-9561 に付属のディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブ にセットします。

フロッピー ディスクからインストール	×	
デバイスの製造元が配布するインストール ディスク を指定したドライブ「に入れて、[OK]を押 してください。 配布ファイルのコピー元:	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	一般的にPC/AT機の場合FD ドライブは「A: 」ですが、PC- 98 の場合内蔵 HD の環境に より異なります

「配布ファイルのコピー元」がご使用のパソコンのFDドライブが指定されている事を確認し「OK」 をクリックします。表示されているドライブがFDドライブと異なる場合、正しいドライブ名を入 力した後「OK」をクリックします。

しばらくしてパソコン本体から「ピポッ」という音が出て、「新しいハードウェア…」のダイアログ 表示が消えたら、ドライバのインストールは完了です。 (3) REX-9561 の動作確認

(1)(2)でのインストール作業が完了したら、次に REX-9561 が正常に動作しているかの確認を 行います。

「スタート」メニュー内の「設定(<u>S</u>)」より「コントロールパネル(<u>C</u>)」を開き、その中の「モデム」 アイコンをダブルクリックします。



モデムのプロパティ画面内で「検出結果」ボタンをクリックします。

ቺምሬመንግስሳምራ 🔋 🗙	
情報 検出結果	
次のモデムがセットアッフ されています。	
REX-9561	─ ここをクリックします
<u>追加(A)</u> 削除(E) 7 [°] ロハ [*] ティ(R) ダイヤル方法	
発信元: 標準	
ダイヤル方法の変更に使ってください。	
<u> </u>	
閉じるキャンセル	

「検出結果」画面でREX-9561に割り当てられているCOMポートを選択し「詳細情報」ボタンをク リックします。これにより、REX-9561に対してパソコンからモデムの確認が開始されます。

ቺምሬመንግስሳት	
[情報] 検出結果	
検出されたポートとインストールされているデバイス:	
ホート インストールされているデバイス このM1 モデムはインストールされていません このM2 モデムはインストールされていません	
COM3 REX-9561	
ト ^デ ライハ(<u>D</u>) 詳細情報(M) ヘルフ(H)	
	ここをクリックします
閉じるキャンセル	

しばらくすると以下のような画面が表示されます。

Ē	é新田竹書幸 履	
	□ホートの情報	
	ホ* −ト:	СОМЗ
	割り込み:	10
	ፖドレス :	3E8
	UART:	NS 16550AN
	最高速度:	115K ホー
	- REX-9561	
	識別子:	PCMCIA¥ROCKWELL-RATOC SYSTEM 336/144KBPS DAT.
	אַלאָד אַלאָד ATI1	· 応答 ▲ 255
	ユマント [*] ATI1 ATI2 ATI3	応答
	ATI1 ATI2 ATI3 ATI4	応答
	ユマント* ATI1 ATI2 ATI3 ATI4 ATI4	応答 255 OK V1.603 J-V34_LP a007880284C6002F bC60000000
	□₹2/* ATI1 ATI2 ATI3 ATI4 ATI4 ATI4 ATI4	応答 255 OK V1.603 J−V34_LP a007880284C6002F bC60000000 r1005111151012004 ×3000111170000000
	□72/ト* ATI1 ATI2 ATI3 ATI4 ATI4 ATI4 ATI4 ATI4 ATI4 ATI5	応答 255 OK V1.603 J-V34_LP a007880284C6002F bC60000000 r1005111151012004 r3000111170000000 022
	□72/ト* ATI1 ATI2 ATI3 ATI4 ATI4 ATI4 ATI4 ATI5	応答 255 OK V1.603 J-V34_LP a007880284C6002F bC6000000 r1005111151012004 r3000111170000000 022 PC0000DD: D05D4

上記画面のように各「コマンド」に対して「応答」側に内容が表示されていれば正常に動作してお りますので、最後に「OK」を何度かクリックして「モデム」のプロパティを終了してください。 (4) インターネットエクスプローラのセットアップ

ここでは REX-9561 に添付の www ブラウザソフト「Microsoft インターネット エクスプローラ」 のセットアッププログラムの起動方法を説明します。

REX-9561 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、マイコンピュータコンピュータより CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

しばらくすると、下記のウィンドウが表示されますので「Msie301j」フォルダをダブルクリックします。



「Msie3.01j」フォルダの中には次の2つのアイコンがありますので「Msie301j.exe」をダブルクリックします。



しばらくすると以下の画面が表示されます

Microsoft ብンターネット エウスプロ~ラ セットアップ
次の使用許諾契約をお読みください。 PageDown キーを使ってスケールしてください。
使用許諾契約書 重要一以下のライセンス契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約 書(以下「本契約書」といいます)は、下記に示されたマイクロンフトソフトウェ ア製品(以下「本ソフトウェア製品」または「本ソフトウェア」といいます)に関し てお客様(個人または法人であるかを問いません)とMicrosoft Corporation(以下「マイクロソフト」といいます)との間に締結される法的な契約書です。本 ソフトウェア製品は、コンピュータソフトウェアおよびそれに関連した媒体、な らびれこEPU制物(マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書を含む こともあります。本ソフトウェア製品をインストール、複製、または使用するこ としまって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとし ます。本契約書の条項に同意されない場合、お客様は、本ソフトウェア製品を ご使用になることはできません。
使用評論契約に同意されますか? しい パコ を選ぶとイソストールを中止します。 インストールするには、この契約に同意してください。
เสมช เมเรณ

インストールを続行するには、上記契約に同意した上で「はい」をクリックします。 後は、セットアッププログラムの指示に従い、インストール作業を進めてください。

3 Windows NT でのセットアップ

ここでは REX-9561 を Windows95 搭載パソコンヘインストールする方法を説明します なお、ここでの説明はすでに PC カードスロットのセットアップが完了したものとして進めていき ます。従って PC カードスロットのセットアップがまだ完了していない場合、Windows NT のヘル プを参考に、PC カードスロットを使用可能状態にした上で、REX-9561 のセットアップを行ってく ださい。

(1) REX-9561のPCカードスロットへの装着

パソコンの電源を切った状態で REX-9561 を PC カードスロットに装着し、Windows NT を起動します。



コントロールパネルより「モデム」アイコンをダブルクリックします。

(2) モデムの検出作業

モデムアイコンをダブルクリックすると、以下の画面が表示されますので、「次へ」をクリック します。

新しいモデムのインストール	
	 モデムの検出を行います。始める前に、次のことを確認してください。 1. モデムの電源が入っているか (ホートニケーブルで接続されている場合) 2. モデムを使用するアフツケーションがすべて 終了しているか 準備ができたら、じ次へ]を知ックしてください。 □ モデムを一覧から選択するので検出しない(D)
	〈 戻る(13) 、次へ(12) > キャンセル
	ここを クリックします

しばらくすると以下の画面が表示され「標準モデム」として検出されますので「変更」ボタンをク リックします。

新しいモデムのインストール	
	COM3 上に見つかったモデム
	標準モデム
	このモデムの種類が正しくない場合は、「変更」 を炒ったして一覧 から別の種類を選択してください。
	变更©)、
	クリックします
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(3) REX-9561 の選択

下記の画面が表示された時点で「ディスク使用」をクリックします。



REX-9561 添付の FD をドライブにセットし「OK」をクリックします。PC-98 をご使用のお客様は 環境によりフロッピーディスクのドライブ名が異なりますので「配布ファイルのコピー元」を実際 のフロッピーディスクのドライブ名と一致している事を確認した上で「OK」をクリックします。

フロッピー ディン	マクカンらインストール	×
<u> </u>	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライフリこ入れて、 「OKT を切った」てください。	ОК
		キャンセル
	配布ファイルのユビー元(⊆):	
		参照(<u>B</u>)
	PC-98の場合、環境により FD のドライ 異なりますのでご注意ください。	ブ名が

しばらくすると以下の画面が表示されますので「OK」をクリックします。

新しいモデム	のインストール	×
٢	モデムの製造元とモデルを別ックしてください。モデムが一覧にない場合、またはインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] を別ックしてください。	
モデル(止)		
REX-956	31	
	<u> </u>	

「COMx(xは環境により異なります)の選択されたモデム」に「REX-9561」が表示されている事 を確認し「OK」をクリックします。

新しいモデムのインストール	
	COM3 上の選択されたモデム
	REX-9561
	このモデムの種類が正しくない場合は、「変更」 をクリックして一覧 から別の種類を選択してください。
	(変更O)
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(4)所在地の設定

パソコンをご使用になる所在地の「国名」「市外局番」を入力します。また、構内交換機等をご使用 の場合外線へ発信するため「外線発信番号」を入力し「次へ」をクリックします。

所在地情報	
	現在の所在地情報を設定してください。
	国名(11):
	外線発信番号(<u>O</u>):
	● K->(T) ○ N ¹ UZ(P)
	< 戻る(日) 次へ(N) > キャッセル

下記の「完了」 画面が表示されれば、セットアップは完了です。続いて、インストール確認を行います。

新しいモデムのインストール	
	モデムは正常にセットアップされました。
	設定を変更する場合は、コントロール パネルの [モデム] でこの モデムを選択し、[フロハティ] を切ックしてください。
	< 戻る(B) (111) キャンセル

(5) モデムの確認

コントロールパネルより「PC カード」アイコンをダブルクリックします。



「ROCKWELL RATOC System...」側の文字を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

PC カート* (PCMCIA) デバイス 🛛 🧧	? ×
ソケットの状態コントローラ	
PC カードおよびソケットは次のとおりです。	
◎ ROCKWELL RATOC System 33.6/14.4Kbps Data/Fax Modem = ソケット 0 ● ない = ソケット 1	
<u>(7)面パディ(B)</u>	
∴注 PC カードの挿入または取り出しの前にコンビュータの電源を切ってください。	
OK ++>>セル	

下記画面で、「デバイスマップ」の項目に「COMx(xは環境に異なります)」が割り当てられていれ ば、正常にインストール完了です。

ROCKWELL RATOC	System 33.6/14.4Kbps Data/Fax Modem プロバ 🍞 🗙
カート『情報』トライハ	*[J)/-x]
	ELL RATOC System 33.6/14.4Kbps Data/Fax Modem
製造元	ROCKWELL
デバイス マップ	Com3
ーデバイスの状態- デバイスは正常I	こ動作しています。
	OK ++>tell

4 OS/2 Warp 4 でのセットアップ

ここでは REX-9561 を OS/2 Warp 4 搭載パソコンヘインストールする方法を説明します。 ここでの説明は PC カードのセットアップの方法と Modem のセットアップの方法を記述します。 PC カードスロットのセットアップが終了している場合、下図のプラグ& プレイ for PCMCIA が実 行できます。



この画面を表示したまま、REX-9561をPCカードスロットに装着した際、「カード」と「状況」の 欄に正しく表示されれば、PCカードスロットのセットアップは既に終了しておりますので(他の PCカードを既に使用している場合など)「(2) Modemのセットアップ」からの作業を行って ください。

(1) プラグ& プレイ for PCMCIA のセットアップ
 プラグ& プレイ for PCMCIA のセットアップを実行するために、デスクトップ上にある
 「OS/2 システム」アイコンをダブルクリックします。



「OS/2 システム」内の「システム設定」アイコンをダブルクリックします。



「システム設定」内の「インストール/削除」アイコンをダブルクリックします。

システム設定・アイコン表示 図 日 □
フォルダー(F) 編集(E) 表示(V) 進況済み(S) ヘルブ(H)
ユーティリティー・ディスケットの作成 スキーム・バレット 単色カラー・バレット 混色カラー・バレット
フォント・バレット WN-OS/2 設定 電源 略号切り替え 外学の関連付け サウンド アプリケーションの登録
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ハードウェア・マネージャー かな漢字変換プログラム
ここを
ダブルクリックします

「インストール/削除」内の「システム構成機能の追加」アイコンをダブルクリックし、環境設定プログラムを起動します。



しばらくすると、下記のように現在のシステム構成が表示されます。

「次ページ」ボタンをクリックし、次へ進みます。

✓ システム構成 次のシステム構成が正しければ次ページを選択してください。選択 さまますようには、その項目の前のコンテンを選択してください。選択	の内容
を変更するには、その項目の前のアイコンを選択してくたさい。 日本語環境設定 コードページ/シフトJISコード 942日本語SAA 932日本語 旧JIS並び	
システム マウス PS/2 (tm) マウス ジステム ディスプレイ VGA (Video Graphics Art	ray)
シリアル装置 キーボード サポートする 5576系または106キーカ	×→ ۲
現在インストールされている周辺装置	
CD-ROM 装置 Hitachi 7730,7930	ていまえ
マルチメディア ScSi アダプター Sound Blaster 16 PnP ズ 加 なし	z
<u> </u>	ヘルプ
ここを クリックします	

「システム構成 (続き)」 画面で「PCMCIA サポート」 アイコンをダブルクリックします。

≤ システム構成(続き)		
次のハードウェアの選択が正しい場合に を変更するにはそのアイコンを選択して	ま「次ページ」を選択してください。選択 てください。	5
「追加ハードウェア・サポート―――		
払張電源管理 サポートする	PCMCIA 127	
SCSIII 光ディスク・サポート サポートしない	デスクトップ拡張ユニット構成	
外部ディスケット・ドライブ サポートしない	UltraBay 装置スワップ サポートしない	ここをダブル クリックします
■● 赤外線サポート サポートしない		
前ページ(<u>P</u>) 次ペ	ージ(N) ヘルプ	

以下の画面では、現在ご使用のパソコンに合わせたPCMCIA コントローラを選択します。 「PCMCIA システムの選択」一覧内に現在ご使用のパソコン機種がある場合はそれを選択します。 一覧にない場合、「INTEL PCIC」を選択します。

(ほとんどのパソコンでは「INTEL PCIC」を選択する事により問題なく動作致しますが、万一動作 しない場合、パソコンメーカー等にお問い合わせください)

次に、「PCMCIA モデム / FAX」の項目にチェックマークを入れ「了解」をクリックします。

PCMCIA サポート		
PCMCIA システムの選択	PCMCIA オブションの選択	
Toshiba T4850CT Toshiba T4900CT Toshiba T610CT Portege Toshiba T6600C		
Zeos Zeos Meridian Zenith Z-lite 425L	▼ PCMCIA ハード・ディスク	 ここにチェックマークを 付けてください
NTEL POU DATABOOK TCIC なし	▼ PCMCIA フラッシュ	
了解取消	ヘルプ	

しばらくすると、以下の画面が表示されますので、「次ページ」を選択します。

707977.8778- (165808)	
(1993年19月1日) (1993年19月1日)	
日本時フォント (Canad)	220
- 日本語 アウトラインフォント (201940)	
	33*
1777#27777777-1770-#27F (33996)	334
_ ConstPrex (30-6340)	236.
	22'
	2Q
」日本酚WM-OS2 環境 [11:44/8]	224
() 普爾爾拉爾加爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾	
」マルチメディアのソフトウェア・サポート [7.57MB]	
」オブジョンの DBCS ユーティリティー (021MB)	
」かな漢字交換(6.6440)	
□525型ディステット装置サポート(マ(加5+86角)(0.01MB)	
」1.2MB ディスケット・サポート (0.01MB)	
	ディスク容量化でイズロ
新ページ(2) (スページ(2) へん	控用可能 1/5.MS 5 化聚素 15.MS

OS/2 Warpのマスターの場所を確認する画面が表示されたら、OS/2のCD-ROMのドライブ名とディレクトリ名を指定します。(ディレクトリ名は「OS2IMAGE」です。CD-ROMのドライブ名はご使用の環境により異なります)

⊻ ソース・ディレク	<リ ー			
ソース・ドライブとう	ディレクトリーを	選択してくだ	さい。	
d:¥OS2IMAGE				_
インストール(()	変更(<u>C</u>)	取消	ヘルプ	

以下の画面で、PCカードのセットアップは完了です。「了解」をクリックしパソコンを再起動し、引 き続き「(2) Modem のセットアップ」へ進んでください

☑ OS/2 Warp 4 の設定とインストール
OS/2 の設定とインストールが完了しました。 変更を有効にするには,システムを終了して再始動して ください。
<u>了解(0)</u> 取消 ヘルプ

(2) Modem のセットアップ

「システム設定」 「 プラグ & プレイ for PCMCIA 」 「 AUTOUTL.EXE 」を実行します。

オート・コンフィギュレー	ター・ユーティリテ	ィール・バラメーターの編集
タイトル カードID	Hodern Card (9F8) MODEM.MD244C.1	16E2.118C2.FC2400.2460MC.FC24F.FC1
NO ボート1 NO ボート2 IRQ レベル COM 番号	0x3F8 • 0 • 4 • 0xFF •	10000 E
メモリー・ウィンドウ1 ベース・アドレス サイズ カード・オフセット	<u>v</u> <u>v</u>	2
メモリー・ウィンドウ2 ベース・アドレス サイズ カード・オフセット	<u>v</u> <u>v</u>	
		[7解0] 取消(C) ヘルブ(H)

「追加」の反を押して使用するカードを選択します。通常は下記画面のように資源が割り当てられ ます。

REX-9561をCOM1として使用する場合「Modem Card(03F8)」を追加します。

Modem Card	3F8	COM1	03F8
	2F8	COM2	02F8
	3E8	COM3	02E8
	2E8	COM4	02E8

Modem Card(03F8)を編集して、上の表の定義を変更することもできます。

オート・コンフィギュレーター・ユーティリティー R-メイン・バネル
使用可能カード 選択済みカード
MODEM_1.SCR
COMPAG FDCard Modem Card (3F8) Future Domain SCSI Card (SCSI) Modem Card (3F8) BM 3270 Card Modem Card (3E8) BM Ethemet Card Modem Card (3E8) BM Token Ring Card Modem Card (2E8) Modem Card (2E8) Modem Card (2E8) Modem Card (2E8) Modem Card (2E8) Modem Card (2E8) Modem Card (2E8)
MIC: CHOSENSCR
ディレクトリ・ ドライブ

設定終了後、画面の指示に従ってパソコンの再起動を行ってください。

パソコンが起動したら、REX-9561をPCカードスロットに装着し、「プラグ&プレイ for PCMCIA」 をもう一度起動し、下記画面が表示されたら「OK」と書かれたアイコンをクリックします。



「状況の情報」画面で下記のように資源が割り当たっているかを確認します。

≥ 状況の情報
┍╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨╨
答酒の <u>割</u> 出す.
↓ (状況) ▲
│ 作動可能 <irq></irq>
4 /0
3F8-3FF <メモリー>
ヘルプ(日)
~→?71
資源(R) 情報(I)

資源が問題なく割り当たっていれば Modem のセットアップは完了です。

(3) HyperACCESSLite for OS/2 での設定について

ここでは、OS/2 に標準添付のターミナル通信ソフト「HyperACCESSLite for OS/2」での設定方法について説明します。

なお、この説明では、「HyperACCESSLite for OS/2」のインストール方法・起動方法については 省略します。(詳細はOS/2のユーザーズマニュアル等をご覧ください。)

「通信の設定画面」で「モデム」の種類を「ユーザー定義(高速)」を選択し「モデムの設定」ボタ ンをクリックします。

☑ 通信の設定			
電話番号(P):	xx-xxxx-xxxx		
設定(データーパリティ	(−-ストップ)(S)	自動検出	-
ボー・レート(B):	57600 💌		カスタム設定(<u>T</u>)
ポート名(N): 🖸	:OM1		•
			ポートの設定(<u>R</u>)
モデム(M): 📔	1 - ザー定義(高返	<u>₹</u>)	-
			モデムの設定(D)…
了解(<u>0</u>) 耳			

`「ユーザ定義(高速)」を選択

「追加モデム設定コマンド」に「JON3W0X3」を記述します。 設定が完了したら「了解」をクリックします。

≤ モデムの設定
追加モデム設定コマンド(E):
¥J0¥N3W0X3
- ダイヤル ○ バルス(ダイヤル回線)(<u>P</u> : ● トーン(プッシュ回線)(T
キャリヤー待ち時間(W) 👩 🗾 🏂 秒
再試行回数(N): 20
再試行間隔(R): 1 2 秒
了解(<u>0</u>) 取消 ヘルプ

(4) FAX Works for OS/2 での設定

ここでは OS/2 標準添付の FAX 通信ソフト「FAX Works for OS/2」での設定方法を説明します。 なお、この説明では「FAX Works for OS/2」のインストール方法・起動方法は省略します。 (詳細は OS/2 のユーザーズマニュアル等をご覧ください。)

∑ 設定	
ボート モードを変更するポートをダブルクリックします。 ファックス・ポートは1つだけ使用できます。 COM1 – 送信/受信 COM2 – オフ COM3 – オフ COM4 – オフ	表紙 注釈 ヘッダー ファックス 音声 モデム モデムの種類 ドート プログラム
ボートの選択 🔶 +	
変更 取消 ヘルプ	

「ユーティリティ」タグ内の「設定」で「ポート」をこれから使用するポートに合わせます。

「ファックス・モデムの種類」を選択します。REX-9561は「Class2」を選択します。

\geq	設定	
\mathcal{H}	 ○ SendFax ○ Class 1 □ TCF 提取() フキッフ □ TCF 信号検査 □ EOP 遅延受信 ● Class 2 □ 代替ビット配列 □ DLE エスケープなし □ XON 受信開始 ○ Class 2.0 	 表紙 注釈 ヘッダー ファックス 音声 モデム モデムの種類
HU-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-U-	 □ HW FIFO (16550A) の使用 □ ボー・レートの減速なし □ 特殊コマンド ファックス・モデムの種類 	ボート プログラム マクロ
	<u>変更</u> 取消 <u>ヘルプ</u>	

以上で設定は完了です。

5 Macintosh でのセットアップ

ここでは REX-9561 を Macintosh ヘインストールする方法を説明します。

(1) Macintosh 側に必要なソフトの確認

REX-9561を使用するには、システムフォルダ内の機能拡張フォルダに以下の2つのファイルがインストールされている必要があります。(通常、出荷時のシステム構成ではインストール済です)



(2) REX-9561のPCカードスロットへの装着

REX-9561 を Macintosh 側の PC カードスロットヘセットします。 REX-9561 が正常に認識されるとデスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。

RATOC System 33.6/14.4Kbps Da

REX-9561 アイコン

デスクトップ上に何も表示されない場合、または以下のメッセージが表示される場合は Macintosh 側に必要なソフトが正しくインストールされていない可能性が考えられます。(1)の項目で記述さ れているファイルが正しくインストールされているかご確認ください。



(3) CCL ファイルのインストール (Apple リモートアクセス使用時)

REX-9561 添付の FD より以下のファイルをご使用の Macintosh のモデム用ファイルフォルダにド ラッグコピーします。



「REX-9561」アイコンを機能拡張フォルダ内の 「モデム用ファイル」フォルダ内にコピーします。 「モデム用ファイル」フォルダは「システムフォルダ」内の 「機能拡張」フォルダ内にあります。

リモートアクセスのバージョンが V2.1 以前の製品をご使用のお客様の場合、CCL ファイルは機能 拡張フォルダへコピーします。



「REX-9561」アイコンを「機能拡張」フォルダ内に コピーします。 「機能拡張」フォルダは「システムフォルダ」内に あります。 (4) Internet Exploler のセットアップ

ここでは、添付 CD-ROM に入っているブラウザソフト「Internet Exploier」のセットアップ方法について簡単に説明します。

「Intrenet Exploler3.0J」インストーラの格納されているフォルダを開きます



下記のアイコンをダブルクリックし「セットアッププログラム」起動します。



セットアップ開始に先立ち、本ソフト使用に関する使用許諾契約に関する内容が表示されます。 面上の契約内容をよくご確認のうえ「承諾」ボタンをクリックします。



以下の画面では、特に問題がない限り「簡易インストール」を選択します。

(簡易インストールを選択すると、すべてのモジュールがインストールされます。ご自分でインス トールするモジュールを選択したい場合、カスタムインストールを選択します。)

IE 3.0 PPC Minimum Installer	
簡易インストール ▼	ライセンス
Microsoft インターネット エクスプローラ 3.0 for Powe そ!	r Macintosh へようと
簡易インストールは次のコンポーネントをインストールしま ・ Microsoft インターネット エクスプローラ ・ WingDings TrueType フォント ・ Internet Config	हेर्च:
- インスト-ルする場所 内蔵1 ▼ 	終了
インストールする場所 内蔵1 ▼ ディスク切替 ディスク切替	終了 【インストール】

ファイルコピーが完了すると以下の画面が表示されます。



「再起動」をクリックすればインストールは完了です。

注意事項と制限事項について

REX-9561 でインターネット接続を行う場合、別途 ppp ソフトをご用意頂く必要があります。 REX-9561 に添付のインターネットエクスプローラだけではインターネットに接続できませんので ご注意ください。

ppp ソフトウェアの設定等に関しては、添付 FD 内電子ドキュメント「アプリケーションの設定」を ご覧ください。

また、1997 年 2 月現在 REX-9561 にて動作確認を行った ppp ソフトウェアは以下の通りです。 Free PPP v1.0.4 / v1.0.5 / v2.5

Config PPP v2.0.1J6.0 / v2.0.1J6.3 / v2.2.0 / v2.2.0a-J

NIFTY-Manager 内でモデム設定項目の一覧には REX-9561 が入っておりません。初期化コマンド 等設定方法の詳細に付きましては添付 FD 内もしくは CD-ROM 内の電子ドキュメントをご覧 ください。

6 AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて

AT コマンドは米国 Hayes 社が開発したモデム制御コマンドです。 REX-9561 への制御はこの AT コマンドによって行います。 ここでは REX-9561 で使用できる AT コマンドと、REX-9561 からの応答「リザルトコード」そし て特殊な設定方法として「S レジスタ」への設定方法について説明します。

(1) AT コマンド体系について

AT コマンドは大きく分けると次の3つから成り立ちます。

- ・コマンド
- ・Sレジスタ
- ・リザルトコード

「コマンド」はパソコンから REX-9561 へ何らかの制御を行う時や各種設定を行う際に使用します。 REX-9561 の設定に関しては後述する「S レジスタ」値を設定することによっても可能です。

「Sレジスタ」はREX-9561の詳細設定を行う際に使用します。REX-9561の設定については、「S レジスタ」を変更するかあるいは「ATコマンド」によって変更できます。ほとんどの設定は「AT コマンド」もしくは「Sレジスタ」のどちらからでも設定できますが、一部の特殊な設定はSレジ スタの設定でのみ可能なものもあります。

またユーザによって変更された「Sレジスタ」の値はREX-9561内に保存する事も可能です。

「リザルトコード」は「ATコマンド」が発行された時の動作結果や、相手先に接続された時の接続 状況(通信速度など)を表示する事です。

(2) ATコマンドの発行方法について

AT コマンドは次の形式でパソコン側より入力します。

A T 制御・設定コマンド CR(改行コード) LF(復帰コード)

- ・AT コマンドは ASCII キャラクタで指定します。
- ・AT コマンドに使用する文字は半角で指定します。全角は使用できません。
- ・コマンド文字は大文字・小文字どちらでも使用できます。ただし、混在使用はできません。
- ・ATコマンドは1度に続けて指定できます。
- ・ATコマンドを続けて指定できる最大文字数は56文字までです。
- ・コマンド内のスペースキャラクタは無視されます。
- ・コマンドの種類によってはパラメータ値が必要なものがあります。パラメータ値が必要なコマン ドにおいて値を指定しなかった場合、自動的に「0」が指定されたものとなります。
- ・コマンドの最後には「復帰」「改行」コードにより終了します。
- ・REX-9561 はパソコンからの AT コマンドによりデータポートの速度・データビット等の条件を 自動的に設定しまので、基本的には通信ソフト側の設定を意識する必要はありません。

(3) リザルトコードについて

リザルトコードとは、REX-9561 に対して何らかの AT コマンドを発行した場合や、REX-9561 が 相手通信機機と接続した際に、REX-9561 より返される状況表示の事です。 リザルトコードは次のいずれかのフォーマットで REX-9561 より ASCII キャラクタにより返されま す。フォーマットは ATV コマンドにより指定します。 (1) 文字列表示のリザルトコードの場合



CR | LF | リザルトコード | CR | LF

(2)数値表示のリザルトコードの場合



文字列指定のリザルトコードか数値指定のリザルトコードのどちらを使用するかは、お客様がご使 用の通信ソフトに合わせて設定します。出荷時の設定は「文字列表示」です。

ほとんどのソフトはどちらのリザルトコードにも対応しているため特に指定する必要はありませんが、一部のソフトではどちらか一方のモードにしか対応していない場合があります。その場合は、通信ソフトが対応しているリザルトコードに合わせて指定してください。

(4) S レジスタについて

S レジスタは、REX-9561 の各種設定値が格納されたレジスタです。このレジスタの値は AT コマンドにより変更できます。

Sレジスタへの値の設定は「ATS」コマンドを使用し、以下のフォーマットで指定します。

ATSxxx = yyy

(xxxに設定したいSレジスタの番号、yyyはそのレジスタに対する設定値を記述する)

また、S レジスタの種類によってはお客様が変更した値を最大で2 種類不揮発性メモリへ保存する ことができます。

REX-9561の場合、特別な場合を除きSレジスタの値は出荷時設定のままで問題なく使用できます。

(5) 設定内容の保存について

ATコマンドで設定した値や、Sレジスタを変更した値などを不揮発性メモリへ保存しておくことができます。保存方法は「AT&W」コマンドを入力することにより、「AT&W」コマンド発行直前の設定状況を不揮発性メモリへ保存します。これにより、次にREX-9561がリセットされた場合には、お客様が設定した値でモデムが初期化されます。

また、お客様が設定した値から出荷時の初期設定に戻したい場合、「AT&F&W」コマンドを入力す ることにより、次のリセット時よりREX-9561は出荷時の設定で初期化されるようになります。 (不揮発性メモリに書き込んだ設定値はREX-9561への電源供給が無くなっても保持されます)

7 AT コマンド一覧

以下より AT コマンドの一覧とそのコマンドの説明を記述します。

コマンド		コマンド解説	初期値
АТА		着呼を行います	なし
Α/		直前のコマンドを再実行します	なし
АТВ	0	モデムモードを ITU - T(CCITT)モードに設定します	
	1	モデムモードを BELL モードに設定します	
ATD		ダイアルコマンド(ダイアルコマンドの詳細は P12 参照)	
ATE	0	コマンドエコーを返しません	
	1	コマンドエコーを返します	
ATH		回線を切断します	なし
ATI	0	製品プロダクトコードを表示します	
	1	製品識別番号を表示します	
	2	ROM チェックを行い、正常なら「OK」異常の場合「ERROR」を返します	
	3	ROM のファームウェアバージョンを表示します	
	4	ファームウェア更新日付を表示します	
	5	国別コード(43)を表示します	
ATL	0	スピーカー音量を OFF にします	
	1	スピーカー音量を小にします	
	2	スピーカー音量を中にします	
	3	スピーカー音量を大にします	
АТМ	0	スピーカー出力を常時 OFF にします	
	1	キャリア検出時までスピーカー出力を ON にします	
	3	ダイアル中およびキャリア受信時はスピーカー OFF 受信中は ON にします。	

コマンド		コマンド解説	初期値
	0	自動フォールダウン機能を無効にします	
ATN	1	自動フォールダウン機能を有効にします	
ATO	0	コマンドモードからオンラインデータモードへ復帰します	<i>t</i> >1
ATO	1	強制リトレインを行いオンラインデータモードへ復帰します	4U
ATO	0	リザルトコードを返します	
AIQ	1	リザルトコードを返しません	
ATSr	= n	レジスタ内容を変更します(nの値の範囲はrにより異なる)	*
r =	?	レジスタ内容を表示します	<i>なし</i>
ΔΤΥ	0	リザルトコードを数字で返します(1 桁~3 桁の 10 進数)	
	1	リザルトコードを文字列で返します	
	0	相手モデム接続時のリザルトコード情報を DTE 速度のみ表示	
ATW	1	相手モデム接続時のリザルトコードを全て表示	
	2	相手モデム接続時のリザルトコード情報を DCE 速度のみ表示	
	0	通信速度表示なし、発信時の BUSY、ダイアルトーン検出あり	
	1	通信速度表示あり、発信時の BUSY、ダイアルトーン検出なし	
ATX	2	通信速度表示あり、発信時のダイアルトーン検出のみ行う	
	3	通信速度表示あり、発信時の BUSY トーン検出のみ行う	
	4	通信速度表示あり、発信時の BUSY、ダイアルトーン検出あり	
AT7	0	カードを初期化し、不揮発性メモリ0の内容をセットします	<i>L</i> . 1
	1	カードを初期化し、不揮発性メモリ1の内容をセットします	

コマンド		コマンド解説	初期値
	0	CD 信号を常時 ON に設定します	
AT&C	1	CD 信号は相手モデムのキャリアに従います	
	0	ER 信号を常時 ON に設定	
	1	ER 信号が ON OFF で回線切断	
ATQD	2	ER 信号が ON OFF でコマンドモードに戻る	
	3	ER 信号が ON OFF でモデムリセット	
AT&F		カード設定を初期出荷の状態に戻します	なし
	0	ガードトーン無し	
AT&G	1	550Hz のガードトーンを設定	
	2	1800Hz のガードトーンを設定	
AT&L	AT&L 専用線モードへ移行します		なし
AT&M 非同期モードへ移行します		なし	

コマンド		コマンド解説	初期値
	1	ダイアルパルスを10pps に設定(メーク率33%)	
AI&P	3	ダイアルパルスを 20pps に設定(メーク率 33%)	
	0	CTS 信号は RTS が ON の時、S26 レジスタで指定した時間の後 ON に移行	
AT&R	1	CTS 信号は常時 ON に設定	
	0	DSR 信号は常時 ON に設定	
AT&S	1	DSR 信号はアンサートーンに追随し変化	
	0	ターミネートテスト実行(+++ で中断)	
	1	ローカルアナログループバックテスト(低チャンネルモード)	
	2	ローカルアナログループバックテスト	
A.T.O.T	3	ローカルデジタルループバックテスト	
AI&I	4	リモート側よりデジタルループバックテスト要求があった場合応答	1 /2 U
	5	リモート側よりデジタルループバックテスト要求があった場合無視	
	6	リモートデジタルループバックテスト	
	7	セルフテスト付きリモートデジタルループバックテスト	
	8	セルフテスト付きリモートアナログループバックテスト	
	0	不揮発性メモリの設定一覧表示	
AT&V	1	現在のモデム設定状況表示	
	0	現在の設定を不揮発性メモリ0に記憶	
AT&W	1	現在の設定を不揮発性メモリ1に記憶	
AT&X	0	モデムが発生した送信クロックを送信データ同期クロックとして使用	
	1	パソコン側の同期信号を送信データ同期クロックとして使用	
	2	受信キャリアからの同期信号を送信データ同期クロックとして使用	

コマンド		コマンド解説	初期値
	0	電源投入時不揮発性メモリ0の内容を設定	t
AI&Y	1	電源投入時不揮発性メモリ1の内容を設定	なし
AT&Zn = x		電話番号 x を n 番目のメモリに記憶 (0 は 0 ~ 3、x は最大 256 桁まで)	
	0	モデム - モデム間のフロー制御を行わない	
AT¥G	1	モデム - モデム間のフロー制御に XON - XOFF を使用	
	0	端末(DTE)速度を固定	
AI¥J	1	端末(DTE)速度をキャリア(DCE)速度に合わせる	
	0	送受信バッファをクリア、ブレーク信号は送出しない	
	1	送受信バッファをクリアしてブレーク信号を送出	
	2	送受信バッファ内のデータを飛び越してブレーク信号を送出	
AT¥K	3	"	
	4	送受信バッファ内のデータ送出後ブレーク信号を送出	
	5	"	
	0	通信モードをノーマルモードに設定	
	1	通信モードをダイレクトモードに設定	
AT¥N	2	通信モードを「LAPM MNP」で設定、両モードで確立不可の場合回線切断	
	3	通信モードを「LAPM MNP ノーマル」で設定(自動モード)	
	4	通信モードを LAPM モードに設定、LAPM モードで接続確立不可の場合回線切断	
	5	通信モードを MNP モードに設定、 MNP モードで接続確立不可の場合回線切断	

コマンド		コマンド解説			
	0	MNP ブロックサイズを 64byte に設定			
AT¥A	1	MNP ブロックサイズを 128byte に設定			
	2	MNP ブロックサイズを 192byte に設定			
	3	MNP ブロックサイズを 256byte に設定			
	0	MNP10 リングネゴシエーション中のレベル調整禁止			
AT)M	1	MNP10 リングネゴシエーション中のレベルを調整を行う			
	0	リングネゴシエーションを最高速度で行う			
AT * H	1	1200bps でリングネゴシエーションを行う			
	2	4800bps でリングネゴシエーションを行う			
	1	LAPM から MNP10 への変換を禁止			
AI-K	2	LAPM から MNP10 への変換を行う			
AT - Q	0	フォールバックを禁止			
	1	フォールバック処理を行う			

ダイアルコマンドのオプションについて

ダイアルコマンド「ATD」には次のオプションが用意されています。

- P パルスモードでダイアルを行う(ダイアル回線用)
- T トーンモードでダイアルを行う(プッシュ回線用)
- , S8 レジスタで指定した秒数だけダイアル作業をポーズ
- @ 5秒間無音を確認した後にダイアル
- W S7 レジスタで指定した秒数だけダイアルトーンを待つ
- ^ ガードトーンを送出しない

8 リザルトコード一覧

以下よりリザルトコード一覧とそのコードに対する説明を記述します。

数字形式	文字列形式	X0	X1	X2	Х3	X4	説明
0 0	ок						AT コマンド正常完了
0 1	CONNECT						回線を接続
0 2	RING						着信した
03	NO CARRIER						回線接続に失敗
0 4	ERROR						ATコマンドエラー
0 5	CONNECT 1200	01					1200bps で接続
06	BUSY	03					相手先が通話中
06	NO DIALTONE	03	03				ダイアルトーンが検出できず
0 7	NO ANSWER	03	03	03			相手先不応答
1 0	CONNECT 2400	01					2400bps で接続
1 1	CONNECT 4800	01					4800bps で接続
1 2	CONNECT 9600	01					9600bps で接続
1 3	CONNECT 14400	01					14400bps で接続
1 4	CONNECT 19200	01					19200bps で接続
1 5	CONNECT 16800	0 1					16800bps で接続
2 4	CONNECT 7200	0 1					7200bps で接続
2 5	CONNECT 12000	0 1					12000bps で接続
2 6	CONNECT 1200/75	0 1					送信側1200bps 受信側 75bps で接続
27	CONNECT 75/1200	0 1					送信側 75bps 受信側 1200bps で接続
28	CONNECT 38400	0 1					38400bps で接続
29	CONNECT 21600	0 1					21600bps で接続
30	CONNECT 24000	0 1					24000bps で接続

数字形式	文字列形式	X0	X1	X2	Х3	文字列形式
3 1	CONNECT 26400	01				26400bps で接続
3 2	CONNECT 28800	0 1				28800bps で接続
33	CONNECT 115200	0 1				115200bps で接続
4 0	CARRIER 300					回線速度 300bps で接続
4 2	CARRIER 75/1200					回線速度送信側75bps 受信側1200bps で接続
4 3	CARRIER 1200/75					回線速度送信側1200bps 受信側75bps で接続
4 6	CARRIER 1200					回線速度 1200bps で接続
4 7	CARRIER 2400					回線速度 2400bps で接続
4 8	CARRIER 4800					回線速度 4800bps で接続
4 9	CARRIER 7200					回線速度 7200bps で接続
50	CARRIER 9600					回線速度 9600bps で接続
5 1	CARRIER 12000					回線速度 12000bps で接続
5 2	CARRIER 14400					回線速度 14400bps で接続
53	CARRIER 16800					回線速度 16800bps で接続
54	CARRIER 19200					回線速度 19200bps で接続
5 5	CARRIER 21600					回線速度 21600bps で接続
56	CARRIER 24000					回線速度 24000bps で接続
57	CARRIER 26400					回線速度 26400bps で接続
58	CARRIER 28800					回線速度 28800bps で接続
66	COMPRESSION: MNP 5					MNP5 圧縮プロトコル使用
67	COMPRESSION: V.42bis					V.42bis 圧縮プロトコル使用
69	COMPRESSION NONE					圧縮プロトコルなし

数字形式	文字列形式	X0	X1	X2	Х3	説明
76	PROTCOL: NONE					データ訂正プロトコルなし
77	PROTCOL: LAP-M					データ訂正プロトコルに LAP-M 使用
8 0	PROTCOL: MNP					データ訂正プロトコルに MNP 使用
8 1	PROTCOL: ALT-CELLULAR					セルラープロトコルで接続
84	CONNECT 33600					33600bps で接続
9 1	CONNECT 31200					31200bps で接続
+FC	FCERROR					FAX モード通信エラー

9 S レジスター覧

以下よりSレジスター覧とそのレジスタの説明る	を記述します。
------------------------	---------

レジスタ	初期値	設定可能範囲	初期値
S 0	000	000 ~ 255	自動着信の有無と自動着信するまでの RING 回数の 指定。0 を指定する事により自動着信無効
S 3	013	000 ~ 127	復帰キャラクタ(CR)の指定(ASCII で指定)
S 4	010	000 ~ 127	改行キャラクタ(LF)の指定(ASCII で指定)
S 5	008	000 ~ 127	後退キャラクタ(BS)の指定(ASCIIの指定)
S 7	030	003 ~ 050	相手応答までの待ち時間(アボードタイム)の指定
S 8	002	000 ~ 255	コンマ指定時のウェイト時間の設定 (単位「秒」)
S 9	006	000 ~ 255	キャリア検出時間の設定 (単位「1/10 秒 」)
S10	014	000 ~ 255	キャリア損失後ハングアップするまでの時間の設定(単位「1/10 秒」)
S11	100	000 ~ 255	DTMF トーン長の設定 (単位「1/10 秒」)
S12	050	000 ~ 255	エスケープシーケンスガードタイムの設定 (単位「1/50 秒」)
S18	000	000 ~ 255	モデムテストタイマの設定 (単位「秒」)
S 2 5	005	000 ~ 255	DTR 検知時間の設定 (単位「1/10 秒 」)
S 2 6	001	000 ~ 255	RTS 有効から CTS 有効までの時間の設定(単位「秒」)

REX-9561 の仕様を以下に示します

MODEM 側インターフェイス部					
適用回線	一般公衆回線、専用線				
通信規格	データ通信 ITU-T V.34+/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis V.22/V.21 Bell 212A/103 ファクス通信 ITU-T V.29/V.27ter/V.21ch2/V.17				
通信速度	データ通信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/ 16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps ファクス通信14400/12000/9600/7200/4800/2400bps				
エラー訂正	MNP 4、MNP 10、ITU-T V.42				
データ圧縮	MNP 5、ITU-T V.42 bis				
データ端末インターフェイ	ス部				
DTE インターフェイス	PC Card Standard 準拠				
通信コマンド	データ通信 Hayes AT コマンド準拠 ファクス通信 EIA-578 CLASS1/EIA-592 CLASS2				
フロー制御	ハードウェア(CTS/RTS)、ソフトウェア(XON/XOFF)				
同期方式	調歩同期				
DTE 通信速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps				
その他					
外見寸法	54mm(w) × 85.6mm(D) × 5mm(H)				
重量	31g				
電源電圧・消費電力 	+ 5V、850mW(最大) 39mW(スリープモード時)				
動作環境	摂氏0~55度 湿度20~80%(但し結露しないこと)				
適合認定番号	S96 - 2051 - 0				
付属品	モジュラーケーブル、ユーザーズマニュアル フロッピーディスク、CD-ROM、中継カプラ				

本製品は電気通信端末機器審査会(JATE)の基準適合認定を受けています。



機器名称: REX-9561 モデムカード 認定番号: S97-2303-0 ラトックシステム株式会社

REX-9561 質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います

法人登録の	会社名・学校名		
方のみ	所属部署		
氏名			
住所	₸		
電話番号		FAX 番号	
シリアル番号			
販売店名		ご購入日	

下記パソコン環境情報と質問内容をご記入願います

パソコン機種名・メーカー					
使用 OS	Windows 95	Macintosh OS			
質問内容(状況等はなるべく	(詳しくお願いしま	:す)			
デバイスマネージャーのシステム概要(Windows 95 のみ)					

(1) コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャから[印刷(N)...] ボタンを押します。

(2) レポートの種類に「全てのデバイスとシステムの概要」を選択して[OK]ボタンを押します。